



2026年5月15日

各位

会社名 株式会社 aero lab international  
(コード番号 326A TOKYO PRO Market)  
代表者名 代表取締役社長 鼓呂雲 健造  
問合せ先 取締役マネジメントコントロール長  
松本 章吾  
TEL 072 (990) 1232  
URL <https://aerolab.jp>

個別実績の前期実績との差異に関するお知らせ

当社の2026年3月期通期(2025年4月1日~2026年3月31日)個別実績について前期実績との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1 2026年3月期通期個別実績(2025年4月1日~2026年3月31日)と前期実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績(A) (2025年3月期)	百万円 4,243	百万円 90	百万円 80	百万円 55	円 銭 171.56
当期実績(B) (2026年3月期)	6,671	141	125	98	301.88
増減額(B-A)	2,427	50	44	42	-
増減率(%)	57.2	56.5	55.6	76.0	-

## 2 差異が生じた理由

当事業年度の個別売上高については、航空機販売において大型ビジネスジェット機の引き合い案件の収益化が好調に推移したことに加え、その他付随する事業における整備サービスの受託案件数が増加したことにより、前事業年度実績より 57.2%の増加となりました。

売上高の拡大とこれに伴う収益性の向上により、利益面につきましても、営業利益が前期比 50 百万円増益の 141 百万円、経常利益が前期比 44 百万円増益の 125 百万円、及び当期純利益が前期比 42 百万円増益の 98 百万円、いずれも前事業年度実績を上回る結果となりました。

業績伸長の背景には、企業活動の国際化や移動効率化ニーズの高まり等を受け、国内外におけるビジネスジェット利用需要が拡大傾向にあるほか、訪日需要の回復や富裕層市場の拡大等を背景としたビジネス航空市場への需要が堅調に推移していることが挙げられます。

このような市場環境のもと、当社グループでは航空機販売のみならず、整備サービスを含む運航支援等総合的なビジネス航空関連サービスの提供体制強化を進めており、各事業の取引拡大による相乗効果が業績向上に寄与いたしました。

以上